

知られざる  
三重にまつわる  
文学・美術を  
紹介します。



実際に使用していた原稿置き台と自伝的小説『青麦』、『菩提樹』、『一路』

CHRONICLE OF MIE VOL. 3

【文学編】

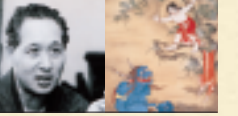
尾西 康充 おにし やすみつ  
人文学部・文化学科教授  
専門は日本近代文学

**転向の季節の  
新進作家、  
丹羽文雄。**

昭和九年、転向の季節に新進作家として文壇に登場した丹羽文雄。戦争に対し非抵抗の態度をとる一方で四日市での幼少期の経験や僧侶としての見地は、独自の作風をもつ昭和の名作を次々と生み出した。

【文学編】

転向の季節の新進作家 丹羽文雄



昭和9年(1934)7月、31歳の丹羽文雄は(新進作家)として将来を嘱望されながら文壇に登場した。当時最も権威のあった総合誌「中央公論」が組んだ特集「新人特集」号に、島木健作の小説「盲目」とともに、丹羽の『贅肉』が掲載された。前年には日本共産党中央委員の佐野学と鍋山貞親が獄中から転向声明を発表、さらに明けて2月に小林多喜二が築地警察署で拷問死してからは、プロレタリア文学者のなかに転向を表明する者が続出した。このような(転向の季節)に作家として登場したことは、その後の丹羽の作家的生涯を大きく方向づけるできごとであった。

昭和4年(1929)に早稲田大学を卒業していた丹羽は、伊勢市出身の尾崎一雄が主宰する同人誌に作品を発表したが、折からの世界大恐慌の影響を受けて日本社会は深刻な不況に陥っていた。「大学は出たけれど」という小津安二郎の映画が世相を反映するものとして評判になるような時代、作家として生計を立てることは到底不可能であった。それまで同棲していた女性と別れ、四日市にある実家の浄土真宗高田派の崇顕寺に帰り、僧侶としての生活を送ることを決めた。

だが永井龍男の推薦によって小説『鮎』を「文藝春秋」に掲載して好評を博してから再度上京し、作家としての生活を始めた。先に紹介した「中央公論」に続いて「文芸」(昭和9年/1934/11月)

の「新人特集」号でも『百日紅』が掲載され、丹羽は(新進作家)としての地位を不動のものにした。

〈転向の季節〉に登場したことは、丹羽に戦争に対して非抵抗の姿勢をとらせることになった。内閣情報局の依頼に応じて昭和13年(1938)には武漢攻略戦にペン部隊として従軍し、昭和17年(1942)には海軍報道班員としてラバウルに出かける。第1次ソロモン海戦に際して第8艦隊旗艦の重巡洋艦鳥海に乗船、砲火を



丹羽 文雄 にわ ふみお  
小説家  
1904年～2005年

明治37年(1904)、四日市市北浜田町の崇顕寺に生まれる。旧制三重県立富田中学校(四日市高等学校)を卒業した後、早稲田大学第一高等学院、早稲田大学文学部国文学科に入学。日本文芸家協会理事長を務めるなど、名実ともに文壇のリーダーであった。私費を投じて同人誌「文学者」を創刊、当時はまだ若手作家であった吉村昭や瀬戸内寂聴、大河内昭爾などを育てた。晩年に認知症になり、娘の本田桂子が献身的に介護を行ったことは、高齢化を迎えた日本社会において大きな関心事となった。

浴びて顔面両腕を負傷した。このときの体験を『報道班員の手記』『海戦』という小説にまとめている。

戦後になって丹羽は、「新日本文学」同人によって戦争協力者として批判されるのだが、それらの作品には戦争を賛美するような要素はなく、客観的に戦場を描写しただけだと反論した。

他方、東京銀座の歓楽街を舞台にした〈マダムもの〉と呼ばれる風俗小説を盛んに描き、昭和24年(1949)には中村光夫との間で風俗小説論争を引き起こした。中村によれば、ヨーロッパの文芸は思想に裏打ちされているのだが、丹羽の小説にはそれがなく、風俗の刺激的な描写しかないという。

だが丹羽は8歳のとき、養子の父が祖母と性的な関係に陥っていることを苦にした母が、自分を残して旅役者とともに家出をするという事件を経験していた。そのために愛欲に満ちた人間の性を凝視しようという態度を備えるようになり、また僧侶として身につけた一種の宗教的な見地から、人間の存在をとらえ直そうとする視点も重なって、丹羽独特の文学を形成するに至る。

86歳の女性の老醜ぶりを描いた『厭がらせの年齢』や、愛欲にふける僧侶の姿を描いた自伝的小説『青麦』『菩提樹』『一路』、さらには『親鸞』『蓮如』の大作に至るまで、旺盛な筆力によって続々と昭和の名作が発表されたのであった。



読売新聞(夕刊)昭和45年1月5日(月)に掲載された「二十歳のころ」\_仏教大学へ行かず早稲田へ」の原稿。



丹羽の自宅の応接室を復元して、一般に公開している。



『新版 親鸞』(全3巻)。



昭和52年11月に文化勲章を受賞。

(すべて四日市市立博物館蔵)